

WITH ～認め合おう、知り合おう、医療と介護～



発刊日：令和元年9月
発行元：認知症疾患医療センター&認知症相談支援センター
協同で発行しています！

今年の夏も暑かったです。秋は涼しくなるでしょうか。体調には十分気をつけてください。
今号では「若年性認知症支援コーディネーター」についてご紹介します。

若年性認知症支援コーディネーターは、国が平成27年から都道府県に配置をすすめています。名古屋市は国に先駆けて平成25年から「若年性認知症相談支援担当職員」を認知症相談支援センターへ1名配置して、若年性認知症の人や家族の支援を行ってきましたが、名称を改め、新しいスタートを切ることになりました。

これまで取り組んできた、個別の相談支援、若年性認知症本人・家族交流会「あゆみの会」の運営、啓発講演会の開催などに加え、今年度より新たに「若年性認知症自立支援ネットワーク会議（以下、「ネットワーク会議」という）」を開催し、関係機関と連携しながら、若年性認知症の人や家族が安心して生活できる名古屋市を目指していきたいと思っています。

本人・家族交流会を6年以上継続してきた強みを活かし、これまでも“当事者の思い”を中心に、若年性認知症当事者と中学校野球部のソフトボール交流など様々な取り組みを実現してきました。ネットワーク会議には当事者も参画予定です。

今後は、当事者中心の取り組みを、多様なステークホルダーとともに展開していくことで、若年性認知症の人や家族はもちろん、誰にとっても生活しやすいまちづくり・地域づくりに寄与できればと思います。



若年性認知症支援コーディネーター 鬼頭史樹・杉本一美
名古屋市認知症相談支援センター ☎052-919-6622

問合せ先及び認知症に関する相談窓口

なごや認知症あんしんナビ

検索

名古屋市の認知症の情報はウェブサイトをご覧ください

認知症コールセンター 認知症の症状や介護等に関する様々な相談

◆名古屋市認知症コールセンター ☎052-919-6633

認知症疾患医療センター 専門医療、鑑別診断と治療、急性期対応等に関する相談

◆名鉄病院 ☎052-551-2802

◆まつかげシニアホスピタル ☎052-352-4165

◆もりやま総合心療病院 ☎052-795-3560

認知症相談支援センターfacebookでは認知症イベント情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

<http://www.facebook.com/ninchishou.soudan>

認知症の食事の障害は、口に入れるまでの「食行動の障害」と、口に入れてからの「嚥下障害」に分けられます。認知症が軽度の場合、食事を食べ始めない・途中でやめてしまう・食べ方が乱れるといった食行動の異常が目ち、これらは認知症のタイプ、性格、これまでの生活・環境に影響を受けます。食行動の異常には声掛けや生活リズムの調整（サーカディアンリズム）、食事環境のセッティング、食器の選択、食事の匂いや味付けなどの支援によって、スムーズに食事ができるようになります。例えば食事をせずに食器やエプロンの模様を指で触っていた場合、「どうして早く食事をしないのか？」と疑問に思いますが、これは食器やエプロンの模様に気を取られてしまっているため、無地の食器やエプロンに変更すると食事がスムーズになります。また味覚の嗜好に合わせた食事を提供することも有効です。味覚が鈍くなり、味付けが濃いもの、甘味に嗜好が偏る傾向があり、食物認知向上のため、「温かい」「冷たい」がはっきりとした食事を提供できると良いと思います。

認知症の特徴を知らないと、食行動の障害は家族や介助者にとって理解できない行動であり、介助者の手間を増やすこととなるケースがあります。それらは介助者に過剰なストレスを与え、そのストレスは認知症の症例にも伝わりやすく、さらに食行動の異常を招くという負の連鎖になってしまいます。しかし行動の理由が分かれば対応が可能となり、仮に改善が困難な症状も理解することで行動を受容できるようになります。こういった考え方を家族や介助者に説明することも、バーンアウト（燃え尽き症候群）を防ぐために重要であり、医療者の役割と考えます。

口から食べるという行為は最後まで残る自発動作であり、「家族が作ったものを口から食べる」という行為は、最後まで残る家族とのコミュニケーションでもあると考えます。今ある機能を最大限に利用し、出来る限り安全に食事ができるように支援を続けることが必要です。また、症状の進行に伴い嚥下障害が出現し、飲み込まない、むせる、口からこぼれる、窒息するといった症状がみられるようになります。その結果、低栄養や誤嚥性肺炎を発症する危険性が高くなるため、上記のような症状を認めた場合は、適切な支援方法等をおかかりの医にご相談ください。

～認知症関係の行事予定～詳細、申込方法等は問合先までお問合せください



◆10月15日（火）13:30～15:30

守山区「認知症講演会」～認知症予防は良い眠りから～
 講師：宮崎総一郎氏（中部大学生命健康科学研究科特任教授）
 定員 200 名 どなたでもご参加できます。参加費無料
 場所：守山区役所 講堂 ※電話・FAX 申込み
問合先（申込先） 守山保健センター保健予防課
☎ 052-796-4625
FAX 052-796-0040

◆10月18日（金）13:30～15:30

港区「港区認知症講演会」 認知症予防と回想法
 講師：来島 修志氏（日本福祉大学）
 山田広美氏によるお楽しみコンサートもあります。
 定員 350 名 どなたでもご参加できます。参加費無料
 場所：港文化小劇場 ※申込み不要
問合先 港保健センター保健予防課
☎ 052-651-6539

◆10月24日（木）14:00～15:45

中区「楽しく学ぶ成年後見制度」
 微笑亭さん太氏による「成年後見創作落語」と成年後見
 あんしんセンターによる「成年後見制度の基礎知識」
 定員 150 名 どなたでもご参加できます。参加費無料
 場所：大須演芸場 ※申込み不要
問合先 中区いきいき支援センター
☎ 052-331-9674

◆10月31日（木）13:30～15:30

中村区「中村区認知症講演会」
 講師：覚前 淳氏（認知症疾患医療センター七宝病院）
 めいらく寸劇グループによる寸劇
 定員 350 名 どなたでもご参加できます。参加費無料
 場所：中村文化小劇場 ※申込み不要
問合先 中村保健センター保健予防課 ☎ 052-481-2218

◆11月11日（月）13:00～16:00

港区「みんなでいきいき健康うお～きんぐ
 ～はいかい高齢者おかえり支援事業模擬訓練～」
 ウォーキングコースを歩きながら声かけスポットをめざし、はいかい役の人に声かけをします。
 定員：80 名 どなたでもご参加できます。
 場所：イオンモール名古屋みなと ※電話申込み
問合先(申込先) 港区西部いきいき支援センター分室
☎ 052-309-7411

◆11月20日（水）14:30～16:30

中区「認知症市民講演会」眠りでひらく健康のとびら～認知症と睡眠の関係～について
 講師：宮崎総一郎氏（中部大学生命健康科学研究科特任教授）
 横川珠姫氏による健康体操もあります。
 定員 300 名 どなたでもご参加できます。参加費無料
 場所：中区役所ホール ※申込み不要
問合先 中保健センター保健予防課 ☎ 052-265-2263
中区いきいき支援センター ☎ 052-331-9674